

平成22年度 徳島県スポーツ振興審議会 議事録

I 日時

平成22年10月28日(木) 午後2時から4時まで

II 場所

県庁10階 大会議室

III 出席者

【委員】15名中10名出席

宇山孝人委員・大西真知子委員・佐古哲子委員・佐藤充宏委員
関本真美委員・竹林義浩委員・田中泰斗委員・田中俊夫委員
田中利子委員・長瀬照明委員

【事務局】文化スポーツ立県局長・県民スポーツ課長ほか
教育委員会体育健康課班長ほか

IV 次第

1 開会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 会長・副会長選任

5 議題

- (1) 県民のスポーツ・健康に関するアンケート調査結果について
- (2) 市町村を対象としたスポーツ振興に関するアンケート調査結果について
- (3) 徳島県スポーツ振興基本計画について
- (4) その他

6 閉会

《配付資料》

- ・ 県民のスポーツ・健康に関するアンケート調査結果
- ・ スポーツ立国戦略(文部科学省)

V 議事録

事務局 (資料確認・出席者人数の確認)

局長 (あいさつ)

事務局 (委員の紹介)

事務局 (会長・副会長の選任)

会長に宇山孝人徳島県体育協会専務理事が選任され、
副会長に佐藤充宏徳島大学総合科学部教授が選任された。

事務局 (会長が議長となる旨の説明)

会 長 本会の議長を務めさせていただきます。ご協力のほどお願いいたします。

それでは、議題に入っていきたいと思えます。まず初めに、議題（１）「県民のスポーツ・健康に関するアンケート調査結果について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 （３ページの【「県民のスポーツ・健康に関するアンケート調査結果について」により説明）

会 長 ただ今の説明につきまして、何かご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

委 員 どのようなところでとったアンケートか。

事務局 昨年度、協働モデル事業でNPO法人と連携して内容を作り、アンケートを実施しました。配布先は、県内の総合型地域スポーツクラブの会員と会員につながる人、クラブのないところは市町村教委にお願いしました。また、NPO法人の依頼できる事業所など、幅広く調査しました。

委 員 １年以内に行った運動など詳しく載っていた。私どものクラブは、プールをメインにしている。年代、男女比、やってるスポーツなど、うちと全く違う。最近、男性も増えてきたが、うちの場合９割方が女性である。このアンケートを見ると、球技が多いなどと思った。昔やっていた方が、総合型地域スポーツクラブなどで運動をしているのかなと思う。参考になり、非常に良くできていると思った。

委 員 ４ページの歩数計の使用状況、６０歳以上の男性が一番多く活用している。小学５、６年生に歩数計を配付し、ウォーキングをやっていると、子供達も付けているときと、付けていないときで行動が全く違う。歩数計を高めるため子供達は必死になって動いている。高齢者が健康のために付けているのであれば、子供達の体力を上げるのと一緒だなと感じた。

会 長 子供達の行動が具体的にどのように違うのか。

委 員 普段登校すると、すぐに外遊びをする子と教室で本を読む子、友達と会話をする子に別れていたが、歩数計を付けると全員が外へ出るようになった。朝読を進めていたが、歩数計の数値を上げるのが楽しみになっている。まだ身体を動かすよるこびまではいっていないと思う。

会 長 他にご質問はございませんでしょうか。アンケートについては、今後の策定の際に活かしていただきたい。

会 長 次に、議題（２）「市町村を対象としたスポーツ振興に関するアンケート調査結果について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 (5ページの「市町村を対象としたスポーツ振興に関するアンケート調査結果について」により説明)

会長 ただ今の説明につきまして、何かご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

委員 県内企業との交流・連携と言うことで、具体的にはどのような交流・連携を示しているのか。

事務局 設問では項目のみを問いかけており、具体的な内容について問いかけていないので、具体的な内容については分かりません。

会長 企業が今の時点で連携できることは、どんなことが想定できるのか。

委員 逆に考えると、企業に資金面の援助とか、うちであればグループ内にアマチュア競技とかプロ集団があるので、それらとの競技連携が考えられるが、資金の提供も限りがあるので、それ以外に何があるか知りたかった。

委員 単純な印刷ミスと思うが、割合と言うところが、括弧①+②となっているが、問4、5などはそうじゃない設問もあると思うが。また、調査対象は総合型地域スポーツクラブと教育委員会か。

事務局 教育委員会だけです。

委員 調査対象をどのように選んだのか、まとめて記載してもらいたい。

委員 スポーツ施設、設備の整備がやっぱりトップに来ている。実際にスポーツを強くしようとする、総合型というより、広く生涯スポーツというよりも、トップの選手を集めて、各競技がしっかりできる体制ができるのが望ましいと思います。どこかにそういう拠点を作っていただくのがいいのですが。それをしない限り、各チーム、各場所で指導者が熱意を持ってやっても、その場限りで終わってしまうというのが現実である。その確立したものを、常に引き継いでいけるような形にしていけないといけない。水泳でも、レスリングでも、いろんな競技が連携できるようなところが必要と思う。また、高校とか中学校とか小学校とか、そういうところから連携していれば一番いいと思う。まずはトップが集まってできる施設がどこかに欲しい。例えば、水泳では四国4県の中で本県には短水路の温水プールも一つもない。試合を行うにしても今はできない状況です。長水路の室内プールは財源も必要だが、せめてそのような施設、それにいるようなものが付帯したような施設ができればいいなと思う。

委員 今回は、教育委員会の行政の立場でのデータです。市町村合併以降、公共サービ

スが広域化していく中で、昔のようなスポーツ行政ができない状況になっている。地域をベースにしたセンター化のような、競技をセンター化していくようなものと、地域をベースにした住民の方々の公共サービスの部分など、少ない財源でどううまく展開していくか。問題点をもう少し整理して、5年後ぐらいにどうなるのか。今までやってきたものも、できるものと、できないもの、どういう風にやっていくのか。計画的な方向性を示していくのが必要でないか。それぞれ今抱えている問題を整理する上でも、こういったデータを出してもらって、これを足がかりに、次期の計画を立てる上での、どんな指標、評価基準をもって事業を推進するのか、評価に基づいた形の方向性を示していくのが、非常に重要でないかと思われます。

委員 個々の細かい具体的なことについては尋ねていないということで、全体的なニーズの傾向というものは出ていると思う。そこで出て来ているのは、金がかかることとか、競技的なものとか、市町村で難しいので、県にお願いしたいという実態であると思う。施設にしても、資金にしても、これだけ予算を付けますというのは、今、財政も厳しいので県でも難しいと思う。どのように応えていくか、金を使わずに、となると先程の、民間企業との協力であるとか、民間のスポーツ施設の相互利用であるとか。実際に箱物を作るとか、予算を潤沢に付けるというのは難しいので、こういう風な高いニーズに応えるために、次に協力をしていただく団体と、新しいアイデアで施策を作っていくといった、次の具体案を検討していくというのが、大事な段階であると思うので、ぜひ色々のご検討いただけたらと思います。

会長 それでは、次の議題に移りたいと思います。議題（3）「徳島県スポーツ振興基本計画について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 （15ページの「徳島県スポーツ振興基本計画について」により説明）

会長 ただ今の説明につきまして、何かご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

委員 「ふれあいとくしま」の中の「新しい公共」とあるが、教えて欲しい。

事務局 何もかもすべてを国とか県で担っていくのは、非常に厳しい状況となっています。国、県が最低限すべきことは何か。今ではそれがどんどん大きくなってきた部分があります。NPO法人や地域の民間団体が担える部分は、そちらの方でやっていただくという、「新しい公共」としてやっていただくという、概念になります。その波は、総合型地域スポーツクラブも「新しい公共」に位置づけられるのではないかと思われます。「新しい公共」と言われる、そういった団体を育てていくということも言われています。スポーツの分野だけでなく、福祉や教育など、それぞれの分野で「新しい公共」という概念を取り入れることを今検討されてきておりますので、そういった概念が今後増えてくるのではないかと思われます。

委員 基本計画の年数を教えてもらいたい。

事務局 前回の計画「スポーツ振興基本計画」が、概ね10年の計画でした。今度も、国の計画を踏まえて、概ね10年くらいで考えています。

会長 19ページに「スポーツ振興のためのキーワード」というのがある、このところで過不足があれば言ってもらいたい。

委員 今見てすぐには出てこない。部会にして関連の方々が話し合いをしていくというのは有意義だと思う。こんなものは、こんなものはと、部会の中で出て来て、検討していくようになると思うのですが、できれば、こんないろんな方面の方々が集まって部会をするのであれば、一度まず、いろんな意見を出し合える、ざっくばらんに話し合える場を作っていて、そこで出て来たアイデアなども参考に、県でも取捨選択しながら、計画を立てて、またそれを検討していくという手順にしていればどうかなと思う。自由な意見を皆さんにいただけたらいいんじゃないかと思います。

委員 国の戦略の柱の中に、公平性の部分、民の力と行政の力をどういう風にバランス良く配置するかといった課題であるとか、「新しい公共」というのは、スポーツに限らない話ですから、逆にスポーツから見た「新しい公共」とは、こういうものだったビジョンが、非常に重要になってくると思う。そういったものを全体の中で意思統一させてもらった上で、それぞれの部会の作業に移って行けたらと思う。共通の課題と問題を共有した方が良く思う。ぜひ全体でこういった話し合いをもてる機会を作りたい。

会長 今、二人の委員から全体で話し合いをもてるよう意見があった。

事務局 本日も全体にざっくばらんに話し合っていますが、資料も大変膨大ですので、皆さん整理や研究される時間がなかったと思いますので、来年の10月ぐらいに成案が欲しいということもありますので、調整をさせていただいて、皆さんのご意見をざっくばらんにいただける機会を、できるだけ近いうちにもちたいと思います。

委員 事前に資料を見せていただけたら有り難いです。

会長 全体の会をまずもつ。そうして4つの部会で審議する。4つの部会に分かれていますので、この際、各専門部会の部会長を決めたいと思います。何かご意見はございませんでしょうか。

委員 事務局で案を示してください。

事務局 4つの部会に共通した課題、問題を提起した上でとの条件付きですが、4つの部

会の部会長としまして、事務局案として、「元気なとくしま部会」の部会長に佐藤委員を、「輝くとくしま部会」の部会長に宇山委員を、「豊かなとくしま部会」の部会長に田中俊夫委員を、「ふれあいとくしま部会」の部会長に長瀬委員を、推薦させていただきたいと考えております。

会 長 事務局案について、何かご意見ございますでしょうか。

<異議なし>

会 長 それでは、「元気なとくしま部会」の部会長を佐藤委員に、「輝くとくしま部会」の部会長をわたくし宇山が、「豊かなとくしま部会」の部会長を田中俊夫委員に、「ふれあいとくしま部会」の部会長を長瀬委員にお願いしたいと思っております。各部会の委員の皆様には、今後それぞれ各部会の担当者からご連絡をさせていただくようになりますので、御協力についてよろしく申し上げます。

会 長 これで、本日予定しておりました議題は以上でございます。せっかくの機会ですので、何かご意見、ご質問がございましたらお受けしたいと存じますが、いかがでしょうか。

委 員 15人の委員がいるが、名前だけでこの席にご参加されていない委員がいる。その委員も部会に入っているが、今後はこの委員さんも必ず参加いただけるのか。

会 長 事務局から必ず出て欲しい旨の連絡をお願いしたい。

事務局 本日も体調の関係でありますとか、よんどころないことで、欠席の方がいらしゃいますが、出席の方は要請していきたいと思っております。

会 長 「県民のスポーツ・健康に関するアンケート調査結果について」は、さらに分析して、当委員会に活かす、それから「市町村を対象としたスポーツ振興に関するアンケート調査結果について」も、同じくよく分析して活かす、「徳島県スポーツ振興基本計画について」は、4つの専門部会に分かれて検討していく訳ですが、それをやるに当たり、まず最初に全体の会議を開いて、フランクな意見交換を述べ合う。難しい問題であると思うが、「資料をできるだけ早く提示していただく」ということと、「全員参加」ということ、できるだけ実現の方向でお願いしたいと思っております。皆様、本日は貴重なご意見をありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

事務局 (閉会)